

電子申請における発表方法について

窓口応募に加え中川生涯学習センターでも、2022年12月から電子申請にて応募をするように変更になりました。

12月分の発表は、申請IDの桁数が19と長く煩雑なため、4桁の独自の受付番号に対応させて発表しました。

しかしながら、申請IDと関連性の無い独自の受付番号では、対応表の見誤りを防ぐことができず、トラブルを極力防止するには、申請IDを使用して発表することがベストと判断し、19桁のうちの先頭4桁で発表します。

さらに、分類記号を先頭に付加して、例えば申請IDが1234だった場合、集会室であればA1234、体育室団体はB1234、体育室個人はC1234と表現します。

万一、窓口応募や他の申請IDと番号の重複が確認された場合は、その重複番号に申請IDの5桁目6桁目の数値を追加して、当選番号が特定できるように対応します。

例) A12345 B12341、C123456 B123451

(窓口応募はほとんどが0001~0099までの番号範囲なので、申請IDの先頭が00の場合に発表桁数が増える傾向になります。)

<実施時期 令和5年01月利用分の発表から>